

貸借対照表 (バランスシート)

(平成18年3月31日現在)

(単位:百万円、円)

| 借 方 | | | 貸 方 | | |
|---------------|----------------|------------------|------------------|----------------|------------------|
| 【資産の部】 | | | 【負債の部】 | | |
| | 総 額 (百万円) | 人口1人当り (円) | | 総 額 (百万円) | 人口1人当り (円) |
| 1 有形固定資産 | 160,265 | 1,070,217 | 1 固定負債 | 75,008 | 500,888 |
| (うち土地) | (52,491) | (350,524) | | | |
| (1) 市庁舎等 | 7,449 | 49,743 | (1) 地方債 | 67,148 | 448,401 |
| (2) 保育所等 | 4,709 | 31,446 | (2) 債務負担行為 | 0 | 0 |
| (3) ごみ処理施設等 | 13,333 | 89,035 | 物件の購入等 | 0 | 0 |
| (4) 労働施設等 | 497 | 3,319 | 債務保証又は損失補償 | 0 | 0 |
| (5) 土地改良・漁港等 | 9,009 | 60,160 | (3) 退職給与引当金 | 7,820 | 52,220 |
| (6) 商工・観光施設等 | 547 | 3,653 | (4) その他 | 40 | 267 |
| (7) 道路・公園・住宅等 | 79,307 | 529,596 | | | |
| (8) 消防施設等 | 1,002 | 6,691 | 2 流動負債 | 7,281 | 48,621 |
| (9) 教育施設等 | 44,404 | 296,521 | (1) 地方債翌年度償還予定額 | 7,271 | 48,554 |
| (10) 議会備品等 | 8 | 53 | (2) 翌年度繰上充用金 | 0 | 0 |
| 2 投資等 | 6,683 | 44,627 | (3) その他 | 10 | 67 |
| (1) 投資及び出資金 | 2,485 | 16,594 | 負債合計 | 82,289 | 549,509 |
| (2) 貸付金 | 3,519 | 23,499 | | | |
| (3) 基金 | 679 | 4,534 | 【正味資産の部】 | | |
| 特定目的基金 | 547 | 3,653 | 1 国庫支出金 | 29,260 | 195,392 |
| 土地開発基金 | 132 | 881 | 2 県支出金 | 7,953 | 53,109 |
| 定額運用基金 | 0 | 0 | 3 一般財源等 | 50,278 | 335,746 |
| 3 流動資産 | 2,832 | 18,912 | 正味資産合計 | 87,491 | 584,247 |
| (1) 現金・預金 | 1,120 | 7,479 | | | |
| 財政調整基金 | 427 | 2,851 | 負債・正味資産合計 | 169,780 | 1,133,756 |
| 減債基金 | 300 | 2,003 | | | |
| 歳計現金 | 393 | 2,625 | | | |
| (2) 未収金 | 1,712 | 11,433 | | | |
| 地方税 | 1,345 | 8,982 | | | |
| その他 | 367 | 2,451 | | | |
| 資産合計 | 169,780 | 1,133,756 | | | |

債務負担行為に関する情報

平成17年度末人口

149,750人

物件の購入等
利子補給等に係るもの

944百万円(人口1人当り6,304円)

804百万円(人口1人当り5,369円)

平成17年度のバランスシートの概要

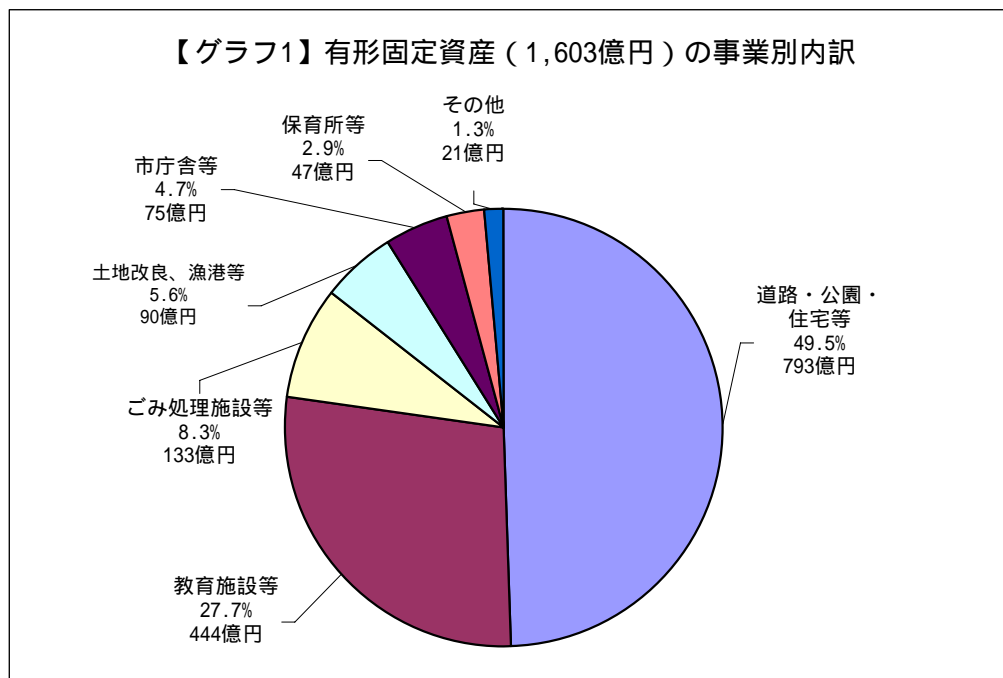
【資産総額 は約1,698億円】

総資産のうち、約94%(1,603億円)を占めるのが「有形固定資産」です。

有形固定資産は、「地方財政状況調査表」が現在の様式となった昭和44年度以降に支出した普通建設事業の合計額を取得価額とみなして表示しています。

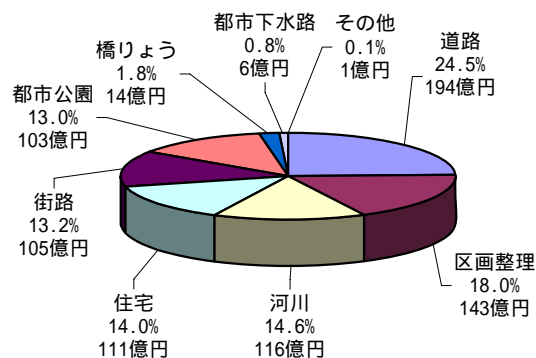
有形固定資産の減価償却は、用途別に設定された耐用年数に基づき、残存価額を0とする定額法により計算しています。

これを事業別に分けるとグラフ1のとおりです。

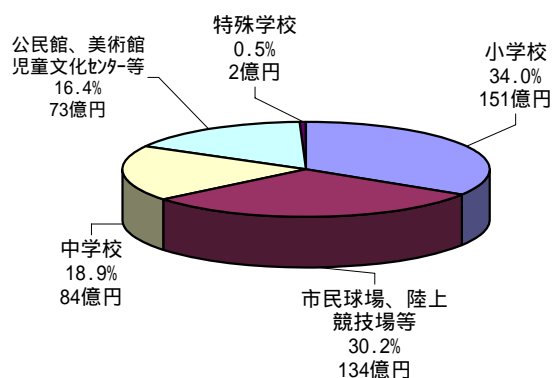


米子市の場合、道路、公園、住宅等や小中学校等の資産形成を重点的に行なってきた結果、土木、教育関係の資産が約1,237億円(有形固定資産全体の77.2%)となりました。それぞれの内訳はグラフ2とグラフ3のとおりです。

【グラフ2】道路・公園・住宅等（793億円）の内訳



【グラフ3】教育施設等（444億円）の内訳



「投資等」は、財団法人や社団法人等の出資の額や貸付金の残高、特定の目的のために積立している基金で、平成17年度末現在、約67億円となりました。

「流動資産」は、現金、預金及び1年以内に現金化することが可能な資産及び市税などの未収金で平成17年度末現在で約28億円となりました。

【負債総額は約823億円】

負債のうち、地方債が固定負債、流動負債あわせ、約744億円で負債全体の90.4%を占めています。

学校や市営住宅、公園などの公共施設を整備する場合は、多額の経費を必要とします。このため、現金で一度に支払いができないものは、地方債を発行することになります。また、毎年の地方交付税でその一部は措置されるものの、臨時財政対策債、減税補てん債、減収補てん債、財源対策債など財源不足を補てんする地方債が増加しています。

【正味資産総額は約875億円】

資産と負債の差額であり、その内訳は、市民の皆さんから支払われた税金や国、県からの補助金で、将来の返済を要しないものです。

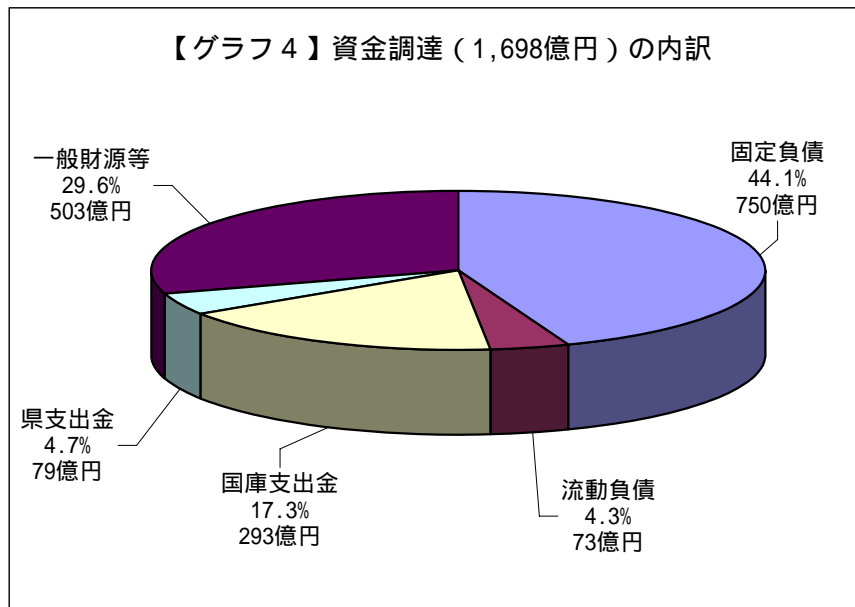
【社会資本形成の世代間負担比率】

社会資本整備を整備するのにどのような資金を調達して実施したのかを示すもので、資産に対し負債と正味資産がどのような割合になっているかを表します。(グラフ4)

正味資産は、主に今までの世代の負担により形成されているところから、この比率が高いほど、将来の世代の負担が少なく健全であるといえます。

しかしながら、道路、公園、学校などは、将来の世代も当然利用するため、地方債を利用することによって、その元利金を将来の世代も支払うことにより、世代間の負担の公平を図るといふ考えから、一概に将来の負担が多いだけで、悪いというわけではありません。

| | |
|-------------------|-------|
| 将来の返済で負担(負債:地方債等) | 48.5% |
| 今までの世代で負担(正味資産) | 51.5% |



行 政 コ ス ト 計 算 書

自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日

【 性 質 別 】

| | 総 額 (百万円) | 人口1人当り (円) | (構成比) (%) |
|-----------------------------|---------------|----------------|--------------|
| 人にかかると | 7,794 | 52,047 | 18.2 |
| (1) 人件費 | 7,089 | 47,339 | 16.5 |
| (2) 退職給与引当金繰入等 | 705 | 4,708 | 1.7 |
| 物にかかると | 12,319 | 82,265 | 28.7 |
| (1) 物件費 | 5,886 | 39,306 | 13.7 |
| (2) 維持補修費 | 411 | 2,745 | 0.9 |
| (3) 減価償却費 | 6,022 | 40,214 | 14.1 |
| 移転支出的なコスト | 20,614 | 137,657 | 48.1 |
| (1) 扶助費 | 8,235 | 54,992 | 19.2 |
| (2) 補助費等 | 5,853 | 39,085 | 13.7 |
| (3) 繰出金 | 6,134 | 40,962 | 14.3 |
| (4) 普通建設事業費 (他団体等への補助金等) | 392 | 2,618 | 0.9 |
| その他のコスト | 2,130 | 14,224 | 5.0 |
| (1) 災害復旧事業費 | 144 | 962 | 0.3 |
| (2) 失業対策事業費 | 0 | 0 | 0.0 |
| (3) 公債費(利子分のみ) | 1,607 | 10,731 | 3.8 |
| (4) 債務負担行為繰入 | 0 | 0 | 0.0 |
| (5) 不納欠損額 | 379 | 2,531 | 0.9 |
| 行政コスト | 42,857 | 286,193 | 100.0 |

平成17年度末人口

149,750人

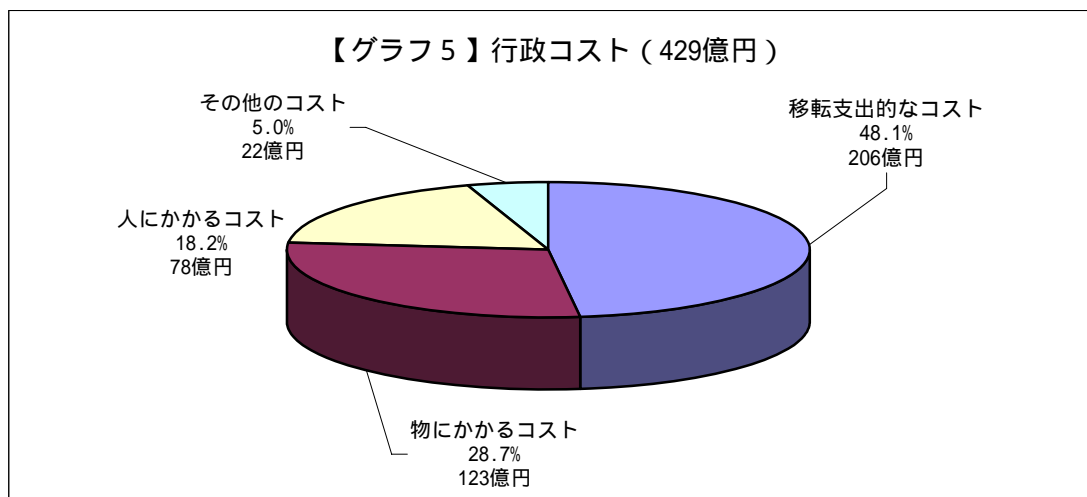
【 目 的 別 】

| | | | |
|--------|--------|---------|------|
| 議会費 | 484 | 3,232 | 1.1 |
| 総務費 | 4,405 | 29,416 | 10.3 |
| 民生費 | 14,982 | 100,047 | 35.0 |
| 衛生費 | 5,245 | 35,025 | 12.2 |
| 労働費 | 102 | 681 | 0.2 |
| 農林水産業費 | 1,597 | 10,665 | 3.7 |
| 商工費 | 658 | 4,394 | 1.6 |
| 土木費 | 6,902 | 46,090 | 16.1 |
| 消防費 | 1,882 | 12,568 | 4.4 |
| 教育費 | 4,470 | 29,850 | 10.4 |
| その他 | 2,130 | 14,224 | 5.0 |

平成17年度の行政コストの概要

平成17年度中の行政サービスに対するコストは、約429億円となりました。

「移転支出的なコスト」と「物にかかるコスト」だけで約329億円で全体の76.8%を占めています。これをグラフにしたものがグラフ5です。



行政コストを個別にみると、主なものは、扶助費、人件費、物件費、減価償却費、繰出金、補助費等で、それらだけで約392億円、全体の91.5%を占めています。

生活保護費や特別医療費、保育所経費の「扶助費」が約82億円、一般職及び特別職の「人件費」が約71億円、下水道事業特別会計をはじめとする特別会計に対する「繰出金」が約61億円、有形固定資産の平成17年度中の減価償却費が約60億円、分別収集等の委託料や事務経費の「物件費」が約59億円、西部広域行政管理組合負担金や各種補助金の「補助費等」が約59億円となりました。これをグラフにしたものがグラフ6です。

